

目的・目標

21世紀に相応しい新たな芸術としての「Kogei」の可能性に着目し、アーティストの育成と海外展開、そして文脈構築を行うことで従来のイメージや文脈を刷新し、グローバルな価値を形成することで「Kogei」を日本の新たなコンテンツ市場として創出することを目的とする。

概要

工芸とアートの二つの視点からそのボーダーで活動する作家を対象とし、海外の学術研究機関と連携した国際シンポジウムの開催や海外の主要な国際美術展における特別展示を実施する。

(分野・ジャンル)

・分野横断的新領域

(渡航先の国・地域)

・ロンドン(イギリス)(2025年)
・ヴェネツィア(イタリア)(2026年)

(国内外の連携・協力体制)

・ヴィクトリア&アルバート博物館との協力
・ヴェネツィア・ビエンナーレとの連携

3年目までの取組

作家の育成と海外展開及び文脈構築を主眼に、海外アートフェア等での展示、イギリス・ロンドンのヴィクトリア・アンド・アルバート博物館と国際シンポジウムの開催、及びイタリア・ヴェネツィアにて開催されるヴェネツィア・ビエンナーレ関連企画展を実施する。



参考写真 Photo:Masahiro Katano

5年目までの取組



参考写真 Photo:Masahiro Katano

「Kogei」のグローバルな価値形成を主眼に、国内外での展示を通じた作家の育成を継続・発展させ、イタリア・ヴェネツィアにて開催されるヴェネツィア・ビエンナーレ関連企画展を実施する。

成果目標(見込)

目標値

企画段階から海外公演等々に登用される若手クリエイター等の数	12人
国内外の団体・企業等との連携数(連携団体数、事業提携数、拠点形成数など)	10件
プロジェクトに関わる海外アーティスト・キュレーター等の数	25人
国内外で展開される公演・展示等の数	3回
国内外で展開される公演・展示等の入場者数	30万人

中核となるクリエイターやアドバイザー

秋元雄史(総合プロデューサー/キュレーター)
東京藝術大学名誉教授、
金沢21世紀美術館特任館長、
国立台南芸術大学栄誉教授、美術評論家。



育成対象者: 12人

工芸の従来のイメージや文脈を刷新し、現代アートの文脈でも紹介することができる観点から、グローバルな視野と実力を持ち海外での活躍が期待される作家を選定。

【補足資料】

